

低温食品業界をリードする情報誌

日刊速報

冷食タイムス

The Frozen Food Times



発行所 株式会社 水産タイムズ社
編集発行人 越川宏昭
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6
TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416
ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>
e-mail reisyoku@suisantimes.co.jp
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)
購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2012年(平成24年)
4月10日(火)第6219号

日水垣添社長、「腕力型でない後任選んだ」

日本水産の垣添直也社長は次期社長の人選など社長交代の背景につき、6日開いた新中計会見の席上、次の様に説明した。

「私はリーダーシップを(前に)出し“腕力型”とでもいえる経営をしてきたが、後任はそうでない方がいい。いまの時代、



細見専務(左)と垣添社長

何をやっても“～ハラスメント”と糾弾される。後任社長はパワーで押さえつけないタイプがこれからは望ましい。細見(典男専務)は健康で、明るい。後任の条件にかなっていると判断した。

社長を退き、会長職に就かない理由は明確。私は取締役を20年以上務め、社長は13年。従って現職の役員、執行役員は私が全員任命した。仮に会長に就けば、代替わりにならない。新しい酒には新しい革袋が必要。

業界に対する発言は相談役でも、個人の資格でもできる。この点では引き続き業界に対しモノを申し続けるつもりだ」。

日水細見次期社長、「仕掛けを成果に」

次期社長に内定した細見典男専務は「前期まで取り組んだ新TGL中期計画でグローバルリンクス、ローカルリンクスの点では相当な成果をあげ、グループは39社増、29社減で計107社に強化できた」としながらも「大型投資に対するリターンが不足、ニッセイ個別の利益も不足している」と反省点を指摘。

新中計では“考え方”の最初に「仕掛けたものを成果に結びつける」ことを掲げた。さらに「一貫事業を核に周辺の扱いの“量”“幅”を増やす」、「グループのイメージを向上」、「財務体質の改善」の4点をポイントとし、財務体質改善では「在庫圧縮も課題」と語った。

(2面に関連)

- 「日水は資源産業、付加価値創造力で」…… 2
- 国分、大型汎用低温DCを埼玉に開設…… 2
- 日清製粉、業務用小麦粉7月から値下げ…… 2
- 日清オイリオ、鶏卵代替に大豆MIX粉…… 3
- 鈴木三郎助氏の「お別れの会」盛儀に…… 3
- テーブルM、常温ご飯でキャンペーン…… 3
- 人事/MN食品、シマダヤ…… 4
- 高橋工業、仙台営業所を宮城野区に開設…… 4

- コープネット募金/キューピー…… 4

業界人脈

(5144)

日本水産(株) 次期社長に内定した
代表取締役専務執行役員

事業推進本部長 細見 典男 氏
…………… 3